

裾野市長泉町衛生施設組合では、平成29年度に「裾野市長泉町衛生施設組合新火葬施設整備基本計画」、平成30年度に「裾野市長泉町衛生施設組合新火葬施設整備基本設計」を策定し、平成33年度（2021年度）中の供用開始を目指して新火葬施設の整備を進めています。（2021年5月に施設オープン、10月以降に全面供用開始予定）
このたび、基本計画・基本設計を踏まえ、施設建築計画の詳細内容の設計を行う実施設計を策定しました。今後は、この実施設計に基づき、新火葬施設の建設工事を進めます。

設計コンセプト： 霊峰富士に見守られ、心穏やかに故人を見送ることができる安らぎの場

富士山の景観を活かしたシンメトリー（左右対称）の施設づくり

- ・ 主要な設備である炉機械室を1階に配置し、建物の高さを極力抑えることで、富士山の景観に配慮した計画とします。
- ・ 外観はシンメトリー（左右対称）を強調した格調ある構成とし、シンメトリーな美しさを誇る富士山と呼応するデザインとします。

この地域、この場所に最適な機能的な火葬施設

- ・ 葬家のプライバシーに配慮し、場内の2ゾーン化、回遊型の儀式動線により、スムーズな儀式的進行が可能な計画とします。
- ・ 地域の慣習を踏まえた諸室の計画により、この場所に合った最適な施設を計画します。



1. 計画概要

計画地	静岡県裾野市今里 343-1 ほか
敷地面積	17,222.55 m ²
都市計画区域	市街化調整区域
用途地域	用途地域の指定のない区域 (市街化調整区域)
用途	火葬場
構造規模	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、 地上2階建（2階部分は機械室等）
建築面積	2,924.99 m ² （施設本体：2,919.54 m ² ）
建蔽率	16.98%
床面積	火葬施設本体：2,961.77 m ² (1F：2,359.95 m ² 、2F：201.34 m ² 、 車寄せ庇：400.48 m ² [床面積算入部]) 外部ゴミ庫：8.45 m ²
容積率	合計：2,970.22 m ² 17.24%

火葬炉数	人体炉4炉+将来増設1炉（予定）
排気方式	2炉1排気系統 (将来増設炉は1炉1排気系統)
排ガス冷却設備	熱交換冷却式
火葬炉燃料	都市ガス、LPガス併用
駐車場	合計約100台

計画諸室

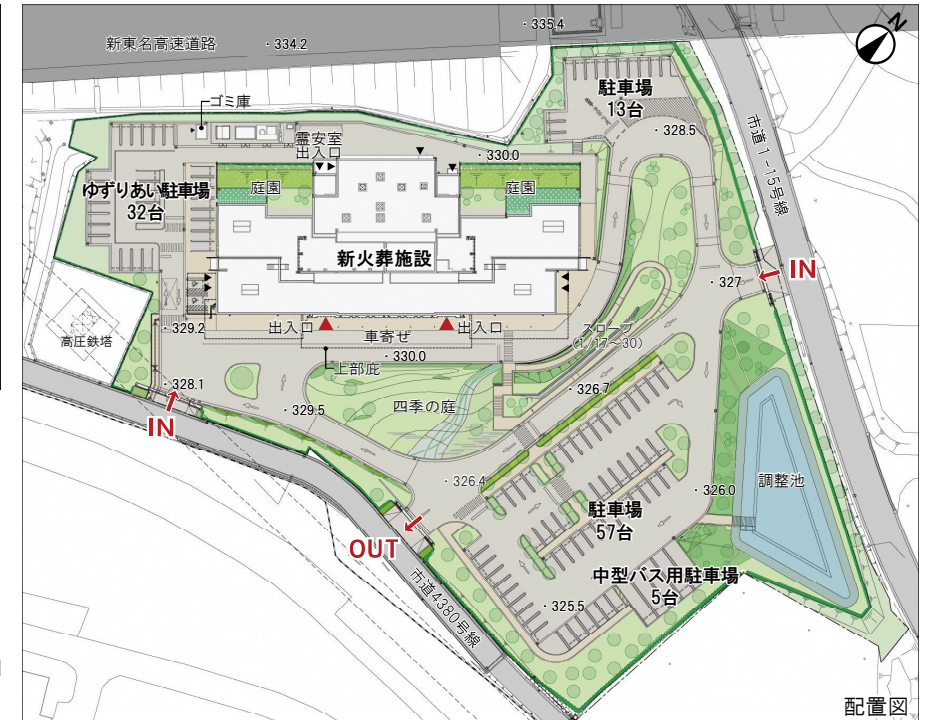
告別室	2室（各50～70人利用） 直葬（※1）など最期のお別れも可能
収骨室	2室（各50～70人利用）
待合室	5室（54人×4室、36人×1室）
多目的室	1室 会議室としての利用や、直葬（※1） など最期のお別れの場として使用 (宿泊を伴う利用は不可)
その他の諸室	待合ホール、キッズルーム、授乳室、 更衣室等 ※式場部門は設けません。

概算工事費	約19億1500万円（消費税10%）
工期	2019年度～2021年度

(※1)…直葬：通夜・告別式等の儀式は行わず、自宅または病院から直接火葬施設にご遺体運び火葬する方式

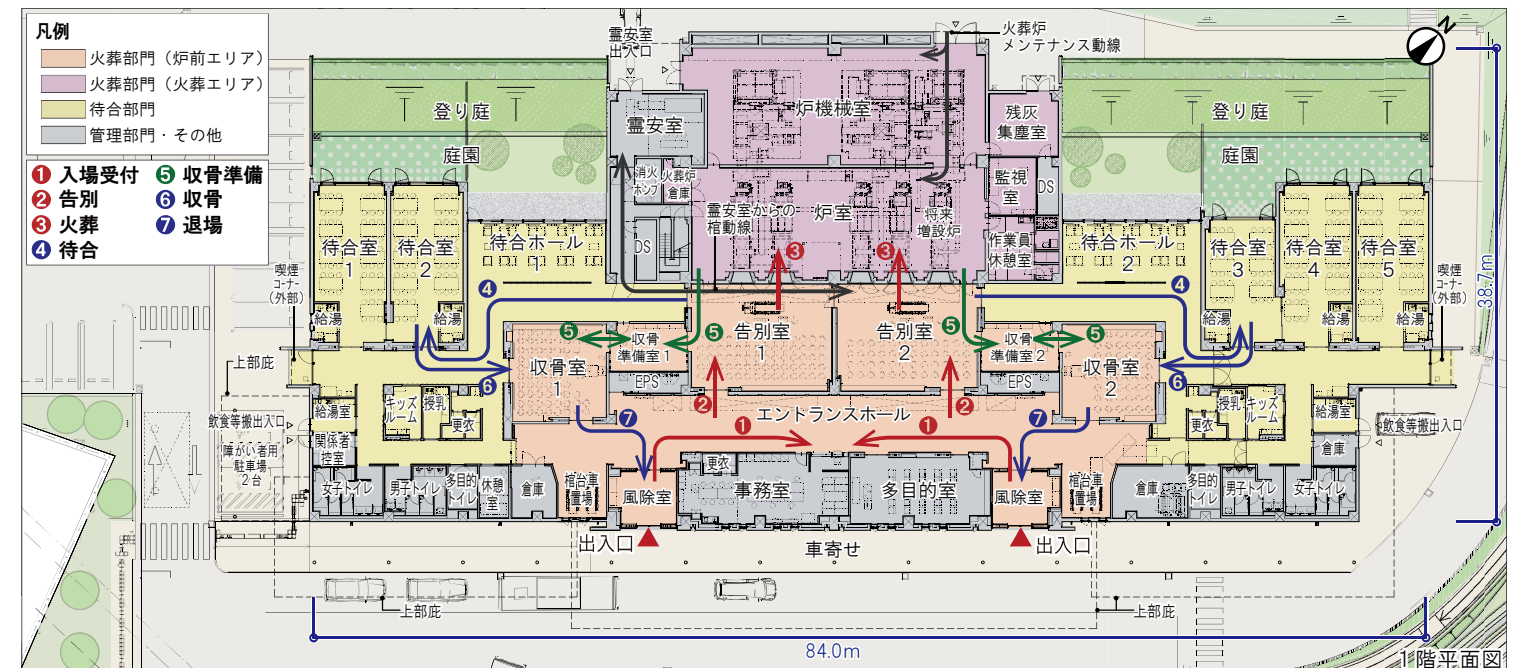
2. 配置計画

- ・ 施設の室内から富士山が望める造成計画、配置計画とします。
- ・ 高齢者の利用も多いことから、建物、車寄せ、駐車場は、バリアフリーに配慮した計画とします。
- ・ 敷地の周囲には、緑地等の緩衝空間を整備し、周辺環境と調和する計画とします。



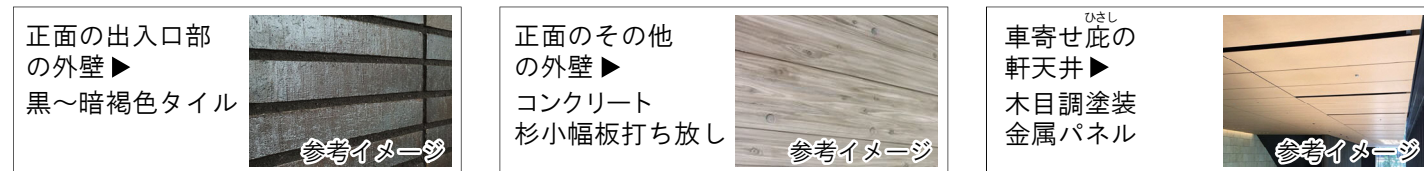
3. 平面計画

- ・ 場内を左右に2つのゾーンに分け、各ゾーンに出入口を設けることで場内の混雑を緩和します。また、火葬件数が少ない場合は、片側のみでの運営を可能とし、維持費や運営費を抑えられる計画とします。
- ・ 一連の儀式動線を回遊型の動線とします。他葬家と交錯しない動線とすることで厳粛な儀式が可能な計画とします。



4. 外装計画

- ・外観正面のデザインは、最期のお別れの場にふさわしい佇まいとなるよう、シンメトリー（左右対称）を強調した庇で格調ある構成とします。シンメトリーな美しさを誇る富士山にふさわしい形とします。
- ・外装仕上げは、火葬施設にふさわしい落ち着いた色調の仕上げとするとともに、耐久性・メンテナンス性・経済性を考慮した合理的な材料を選定します。



5. 内装計画

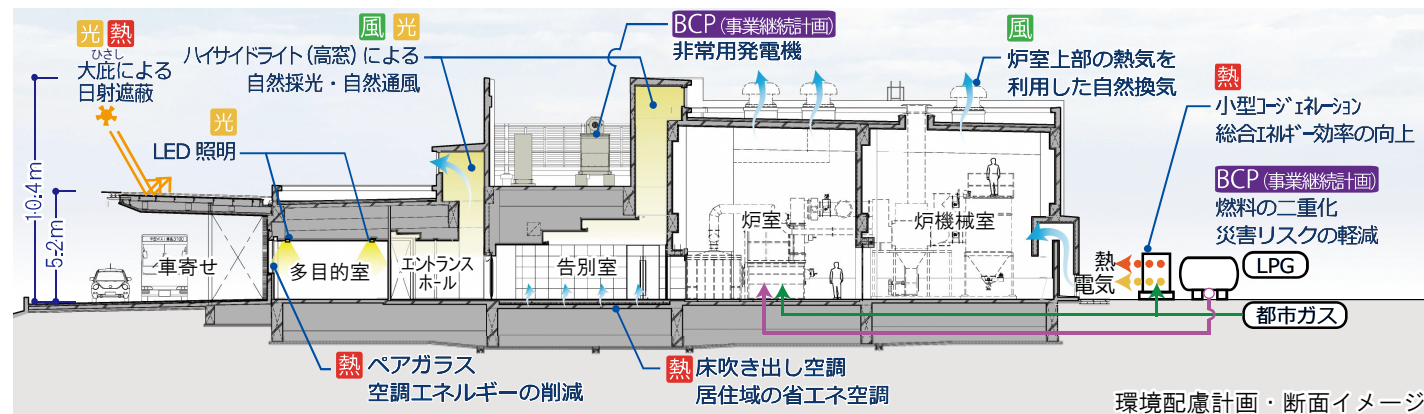
- ・火葬施設にふさわしい落ち着いた色調の仕上げとするとともに明るい色調の計画とします。
- ・耐久性・メンテナンス性・経済性を考慮し、それぞれの諸室に適した内装計画とします。

■ 告別室	■ 収骨室	■ 待合室	■ 待合ホール
壁や床に花崗岩を使用し、火葬炉化粧扉上部のハイサイドライトから自然光を取り入れることで、故人の尊厳を守る厳粛な雰囲気演出します。	木調の船底天井に包まれた落ち着いた空間とします。入室して正面の壁は、石調タイルとし、故人への尊厳を表現します。	天井・床・腰壁に木調材料を使用した温かみのある空間とします。腰壁はメラミン化粧板とし、床はビニル床タイルとすることで清掃性にも配慮した計画とします。	天井に木調材料、床にタイルカーペットを使用し、快適に過ごせる落ち着いた空間とします。富士山を眺めることができる大きな窓を設けます。

6. 断面計画・環境配慮計画

- ・火葬炉機械室を1階に配置することで、建物の高さを抑え、周囲の景観に配慮した計画とします。
- ・エントランスホール、告別室にはハイサイドライト（高窓）を設けることで、内部に自然採光を取り入れた計画とします。
- ・自然の恵みを活かしつつ、省エネルギー性・災害時対応に優れた環境配慮計画とします。

自然エネルギーの活用（自然の力）	高性能機器の活用（機械の力）
大庇の設置、ペアガラス、自然採光、自然通風	LED照明器具、省エネ照明制御、センサ・タイマー調光付街路灯、全熱交換器、節水器具利用・自動水栓利用、エコケーブル、床吹き出し空調、小型コージェネレーション（※2）



（※2）…小型コージェネレーション：発電で発生した排熱を空調に有効利用したシステム

7. ユニバーサルデザイン計画

- ・誰もが安心して利用できる施設とするため、ユニバーサルデザインに配慮した計画とします。
- ・場内の床は段差をなくし、告別室や収骨室にはベンチや手摺を設ける等、高齢者等の利用に配慮した計画とします。
- ・サインは、利用者の目の高さを考慮した見やすい位置に配置し、大きな文字やピクトを用いたわかりやすい計画とします。

8. 災害対策・構造計画

- ・非常用発電機（220kVA）を設置し、火葬中に電力供給が途絶えた場合も火葬を継続して完了できる計画とします。
- ・供給面、経済面、環境面を考慮した結果、火葬炉燃料を二重化（都市ガス・LPガス）することで、災害発生後も火葬業務を継続できる計画とします。
- ・構造体は、大地震動後も大きな補修をすることなく建築物を使用できるよう、機能と安全が確保できる計画とします。
- ・大地震動後の機能継続のため、最低限の火葬業務に必要な諸室の天井や設備機器は耐震措置を行います。

9. 工程計画・建替計画

- ・工事は、4つの工種に区分し発注します。2021年5月中に施設をオープンし、現裾野市斎場を解体後、2021年10月以降に全面供用開始予定です。
- ・工事中も現斎場が火葬施設としての尊厳性を保ち運営することができるよう計画するとともに、手戻りのなく各工程を実施できるよう工事区画を明確に区分します。

